

モニタリング結果報告書 (2018年度)

1. 施設概要

施設名	保土ヶ谷公園		
所在地	横浜市保土ヶ谷区花見台・仏向町・星川1丁目・3丁目		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/hodogava/index.html		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（昭和32年4月）		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会・株式会社サカタのタネ・サカタのタネグリーンサービス株式会社・株式会社オーチューループ		
指定期間	H27.4.1～R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況がA評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がA評価となったためA評価となった。公園利用については、競技者だけではなく、サポーターの増を図るオープスタジアム等、運動公園の特質を活かしたスポーツとの多面的な関わりあいの機会を提供しているほか、季節毎のイベントやギャラリー等、スポーツ目的以外の利用者間の交流の機会を創出し、運動施設利用に偏らない公園利用の増大への取組みも見られ、今後も継続していくことが望まれる。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 ・過年度から行っているオープスタジアムは好評であり、6,237人の参加が得られたほか、カフェを併設したギャラリーを交流の場として活用を図り、2万人を超える利用者を数えた。軟式野球場等での平日利用料金の割引は未実施であるが、ラクロス等の利用受け入れ等、施設稼働率上昇のための掘り起しに努めた。</p> <p>◆利用状況 ・利用者数の目標達成率は104.4%となり、A評価となった。各施設での大会が順調に実施された結果、前半の天候不順等による減を回復することができた。</p> <p>◆利用者の満足度 ・2ヵ月ごとに実施し、上位2段階の回答割合が95.2%のためS評価となったが、施設の老朽化に伴う不満も多いため、改修等に向け、県との調整を要する。</p> <p>◆収支状況 ・収支差額は駐車場の収入が堅調であったためプラスとなり、収支比率が101.6%となったためA評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 ・駐車場係員に対する苦情が寄せられたが、丁寧な対応を徹底する等の取組みを行った。</p> <p>◆事故・不祥事等 ・8/5に軟式野球場外へのボール飛び出しが発生した。ボールの規格変更による飛距離の増大に対する施設改修までのソフト対策として、金属バットの使用制限に向けた検討を進めている。</p> <p>◆労働環境の確保に関する取組状況 ・県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 ・オリンピックの開催に伴う他施設からの代替利用の受入れ等、積極的な施設利用の調整に努めている。</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	6月、11月、2月、 3月、1月	集計が遅れたため。
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
健康づくりの促進として、「かながわ未病改善宣言」「3033運動」等、楽しみながら健康づくりに取り組む機会を提供する。	4, 5, 9, 11, 3月にイベントを実施、健康増進の場としての施設利用の拡充を図った。イベントの参加人数は542人であった。	計画どおりの実施であり、今後も競技以外の施設活用の拡大が望まれる。
競技団体と連携し、サッカー場、硬式野球場、ラグビー場でのオープスタジアム等、スポーツに親しむ機会を提供する。	12, 1月を除く毎月実施。野球のマスターズ大会等、サッカー以外の掘り起こしができた。延べ参加人数は6, 237人であった。	計画どおりの実施であり、今後もスポーツへの多様な関わりの場の提供が望まれる。
交流機会の充実をはかるため、カフェを併設したギャラリーの展示以外の活用を進める。	ほぼ1年を通じて展示会等を行い、様々な嗜好に応じた交流機会の場の確保が図られた。延べ入場者数は、22, 000人である。	展示が主体であるため、入場者間での交流促進が図られる工夫が望まれる。
来園のきっかけづくりとして、気軽に楽しめるイベント等によるにぎわいを創出する。	夜間の鑑賞系イベントや樹林内でのプレーパーク、標本作り等のイベントを16回行い、32, 833人の参加者を得た。	計画どおり実施し、定着しつつあるイベントもあることから、継続が望まれる。
平日利用促進のための軟式野球場、少年野球場、ラグビー場の平日利用料金の割引	平日利用の希望が少ないことから、ラクロスやグラウンドゴルフをイベントで行う等、利用者の掘り起しを進めた。	収支を考慮しつつも、平日の施設利用率の向上を図るさらなる工夫が望まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
○有料駐車場（A駐・B駐・臨時駐車場の運営） ・駐車場管理機器を導入し機械化 ・営業時間は5時～23時まで、料金は時間制とする。	臨時を含む3箇所の有料駐車場を運営した。

○自動販売機（災害支援型、バリアフリー型ベンダーの採用） ・飲料などの自動販売機設置 ・再整備された広場などへの自動販売機設置	園内各所に設置した28台の飲み物等の自販機設置を継続した。
○軽飲食・売店 ・カフェとギャラリーを併設し、くつろぎの空間を演出 ・常設売店2箇所のほか、硬式野球場・プールでの臨時売店の営業	軽飲食を提供するカフェ等の売店を5箇所経営した。
○オートテニス ・オートテニス2台による営業 ・テニスラケットや靴の貸し出し	計画通り実施

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
A	

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	786,115	835,734	818,103
対前年度比		106.3%	97.9%
目標値	763,426	794,200	783,800
目標達成率	103.0%	105.2%	104.4%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 天候別（晴れ、曇り、雨）の人数＋有料施設申込者数＋イベント等参加人数の合計で算出

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支差額の決算 額/収支差額の当 初予算額
前々 年度	当初 予算	174,138	49,963	68,792	駐車場 65,499 自販機 3,293	292,893	292,893	0	
	決算	174,138	52,914	95,226	駐車場 88,733 自販機 6,493	322,278	292,488	29,790	110.19%
前 年度	当初 予算	174,138	50,163	76,617	駐車場 73,291 自販機 3,326	300,918	300,918	0	
	決算	174,138	51,364	97,659	駐車場 89,275 自販機 8,384	323,161	308,235	14,926	104.84%
2018 年度	当初 予算	174,138	50,363	75,869	駐車場 72,495 自販機 3,374	300,370	300,370	0	
	決算	174,138	53,284	92,778	駐車場 85,799 自販機 6,979	320,200	315,091	5,109	101.62%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

2018年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	メール 1件	硬式野球場の旗が半旗となっており中途半端になっている。	強風で掲揚ロープが外れていたため、修理をした。
	1件		
職員対応	電話 1件	駐車場開場時間内にも関わらず、出庫を促された。	閉場時間近くでの駐車車両への注意喚起を丁寧に行うようにした。
	1件		
事業内容	電話 1件	公園のホームページに掲載されている県の施策名称が古いので修正すべき。	名称を確認の上、即時修正した。
	1件		
その他	1件		
	1件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 □ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
1月31日	①1/31：指定管理者職員が剪定作業中、樹木の刺が手に刺さった。 ②2/19：事故発生箇所を確認（負傷者からの報告が2/19であったため）。 ③2月になって腫れが生じたため、病院で切開して刺を摘出(2/18)。 ④無。 ⑤作業時に保護用手袋を装着していなかったため。労災適用。 ⑥無。
8月5日	①軟式野球場のボールがフェンスを越えて歩行者の脚に当たった。外傷無し。 ②8/5：事故発生箇所を確認。 ③相手方からの連絡はなく状況不明。金属バットの使用制限を検討中。 ④フェンスの高さ不足。 ⑤軟式ボールの規格変更により、従来よりも飛距離が伸びたため。 ⑥無。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。